

2016年3月27日

[件名]：「やんばる国立公園（仮称）の指定及び公園計画の決定に関する意見の募集（パブリックコメント）について（お知らせ）」への意見

[宛先]：環境省自然環境局国立公園課あて

[氏名] 一般社団法人／日本哺乳類学会／哺乳類保護管理専門委員会／委員長 山田文雄

[郵便番号・住所] 305-8687 茨城県つくば市松の里1 森林総合研究所

[電話番号] 029-829-8376

[FAX 番号] 029-873-3799

意見：

<該当箇所>

指定書 P4 最終行・P5 行 2

<意見内容>

原案の記述を下記の改訂案のようにすべきである。

原案：「オキナワトゲネズミ（絶滅危惧 I A 類）は、2008 年に 30 年ぶりに再捕獲され、やんばる地域内でもごく限られた狭いエリアにしか生息していない。」

改訂案：「オキナワトゲネズミ（絶滅危惧 I A 類）は、1946 年にアマミトゲネズミの亜種として発見され、その後の再検討（1989 年）により新種として位置づけられた沖縄島固有の哺乳類である。本種の分布南限は、1930 年代には名護市北部にあったが、1990 年代に大宜味村塩屋と東村平良を結ぶラインまで後退し、2000 年代には分布域はさらに北方に縮小した。加えて、2001 年以降は生息情報がなく、絶滅が懸念されていたが、2008 年に西銘岳周辺において、30 年ぶりの捕獲による生息確認があった。現在は、やんばる地域内のごく限られた狭いエリアにしか生息していない。」

<理由>

「ii 鳥類」の記述のように、哺乳類についても、発見や生息変遷の内容を記述したほうが良いため。

<該当箇所>

指定書 P5

<意見内容>

「ii）鳥類」や「iii）両生は虫類」などの種についても、レッドリストカテゴリーを記述する。

<理由>

哺乳類の種では、レッドリストカテゴリーが記述されている。同様に記述したほうが良いため。

<該当箇所>

公園計画書 P1 「(1) 保護に関する基本方針」 第 2 段落 1 行目

<意見内容>

原案の記述を下記の改訂案のようにすべきである。

原案：重要な資源である

改訂案：重要な保全対象である

<理由>

ここで「資源」と記述すると、「人間にとって利用価値が高い」という意味合いが強調されすぎるため。

<該当箇所>

公園計画書 P1 「(1) 保護に関する基本方針」 第 2 段落 4-7 行目

<意見内容>

原案の記述を下記の改訂案のようにすべきである。

原案：希少かつ固有な動植物の生息・生育地として重要な・・・自然再生・修復を行う。

改訂案：希少かつ固有な動植物の生息・生育地として重要な脊梁部の発達した照葉樹林の連続性を保ち、その劣化や分断を防止し、溪流植物や両生類などを育む溪流環境を保護し、生態系に配慮した森林施業を行う。さらに、これまで行われてきた生活、産業、開発行為の結果、照葉樹林や河川生態系等の劣化や分断が生じている場合には、積極的に自然再生・修復を行う。

<理由>

本計画案では、脊梁山地の指定地域とやんばる東部の指定地域が分断されているが、将来的に指定地域の拡大を図るなど、やんばる地域を一体のものとして保全していく方向性を示すため。

<該当箇所>

公園計画書, P1 下から 6 行目・P2 上から 14 行目, P12 表 5: 第 1 種特別地域内訳表「脊梁山地」, P17 表 7: 第 2 種特別地域内訳表「脊梁山地」

<意見内容>

本計画案では、オキナワトゲネズミの唯一の主要な生息地が主に「第 2 種特別地域」指定されている。「第 2 種特別地域」は、規制される行為については「許可制」であるものの、「生態系の保護と森林施業と調整を図る地域」とされている。これまで、この本種の唯一の主要生息地では、森林伐採が行われており、今回の「第 2 種特別地域」指定によって、本種の生息地保全が十分担保されるのか懸念がある。より厳しい規制措置を確保できるように、本種の唯一の主要個体群の生息地と分布周辺部を「第 1 種特別地域」指定地に含めるべきである。

<理由>

オキナワトゲネズミの個体数や分布の現況から、本種は絶滅に極めて近い状態にあると判断される。主要な餌の堅果類の豊凶や台風の影響も受けるうえに、森林伐採が行われる可能性も高いことから、生息環境を保全することが極めて重要である。このため、本種の唯一の主要な生息地の保全や修復の担保措置が喫緊に必要と考える。

<該当箇所>

公園計画書 P3 「(イ) 道路」下から 2 行目

<意見内容>

原案の記述を下記の改訂案のようにすべきである.

原案：利用による自然環境の悪影響を防止し

改訂案：道路整備による乾燥化、車両・人の通行、ゴミの遺棄やイヌ・ネコの遺棄等、利用による自然環境への悪影響を防止し

<理由>やんばる地域を縦断する大國林道が開通したことによって、森林のコア地域に多くの人々が容易に立ち入ることができるようになったことで、さまざまな悪影響が生じてきた事例がある。とくに、野生生物への直接的被害として、乾燥化、ロードキルやイヌ・ネコの遺棄、動植物の違法な捕獲・採取などが増加したとされる。今後、国立公園指定や世界自然遺産登録によって、さらに多数の車両や人が来訪することによって、こうした問題がさらに深刻化すると考えられる。このため、車道を管理（通行制限や閉鎖、廃止も含めて）することにより、悪影響の排除に積極的に取り組むことを追記すべきである。

以上

平成 28 年 2 月 27 日

「やんばる国立公園（仮称）の指定及び公園計画の決定に関する意見の募集（パブリックコメント） について（お知らせ）」

やんばる国立公園（仮称）の指定及び公園計画を決定することについて、意見を募集します。

1 背景

沖縄県北部地域には、国内最大級の亜熱帯照葉樹林が広がり、琉球列島の形成過程を反映して形成された島々の地史を背景にヤンバルクイナなど多種多様な固有動植物及び希少動植物が生息・生育し、石灰岩の海食崖やカルスト地形、マングローブ林など多様な自然環境を有しています。

平成 22 年度に実施された国立・国定公園総点検事業においては、当該地域のこれらの自然環境が我が国を代表する傑出した地域であると高く評価され、新規に国立公園の指定を行う候補地として選定されました。

このような評価を受け、沖縄県北部地域について自然環境に関する情報をさらに収集・分析した結果、我が国を代表する傑出した資質を有する地域として、新たにやんばる国立公園（仮称）を指定するものです。なお、既に指定されている沖縄海岸国定公園の一部地域を本国立公園に編入します。

2 意見提出手続

（1）問い合わせ先

ア 環境省自然環境局国立公園課

東京都千代田区霞が関 1-2-2 / 電話 03-5521-8279

イ 環境省那覇自然環境事務所

沖縄県那覇市樋川 1-15-15 那覇第一地方合同庁舎 1 階 / 電話 098-836-6400

（2）意見募集対象

やんばる国立公園（仮称）の指定及び公園計画決定案

資料「やんばる国立公園（仮称）の指定書及び公園計画書（環境省原案）」

（3）資料（指定及び決定案）の入手方法

指定及び決定案とその概要は、環境省ホームページ (<http://www.env.go.jp/press/index.php>) に掲載するとともに、（1）の問い合わせ先で閲覧することができます。

（4）意見提出期間

平成 28 年 2 月 27 日（土）から 3 月 27 日（日）までの 30 日間

（5）意見提出先

(6) 意見提出方法

ア 郵送の場合： 〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 ※締め切り日当日消印まで有効

イ FAXの場合： 03-3595-1716

ウ 電子メールの場合： shizen-kouen@env.go.jp

※意見の内容はメール本文に記載して送付してください。添付ファイルに意見を記載して提出することは、御遠慮ください。

4 提出された意見の取扱い

提出された意見につきましては、その概要とそれに対する対応方針を取りまとめて公表します。

5 今後の主なスケジュール（予定）

平成28年4月 提出された意見を取りまとめた上、公表

平成28年6月 中央環境審議会に指定及び決定案を諮問・答申

平成28年7月 中央環境審議会の答申を踏まえ、指定及び決定内容を官報告示

添付資料

・ やんばる国立公園（仮称）の指定書及び公園計画書（環境省原案） [PDF 564 KB]<http://www.env.go.jp/press/files/jp/29354.pdf>

・ やんばる国立公園（仮称）の指定及び公園計画決定案の概要 [PDF 192 KB]<http://www.env.go.jp/press/files/jp/29350.pdf>

・ 公園区域図 [PDF 38.4 MB]<http://www.env.go.jp/press/files/jp/29351.pdf>

・ 公園計画図1 [PDF 5.4 MB]<http://www.env.go.jp/press/files/jp/29352.pdf>

・ 公園計画図2 [PDF 7.7 MB]<http://www.env.go.jp/press/files/jp/29353.pdf>

連絡先

環境省自然環境局国立公園課

直 通：03-5521-8279

代 表：03-3581-3351

課 長：岡本 光之（6440）

課長補佐：河野 通治（6650）

課長補佐：岩浅 有記（6694）

係 長：小林 誠（6691）